

令和4年度 第3回 飯田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月10日（金） 13時50分から15時00分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 会議室
- 3 出席委員 杉山邦司、露木里江子、森峯男、小野逸子、間渕ちづみ
松山岳史、鈴木大輔
- 4 欠席委員 白井竜之
- 5 学 校 生熊周（校長）、町田全広（教頭）、上野仁悟（主幹教諭）
山下英行（CS担当教諭）、小林知美（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 学校関係者評価について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について
- (4) 来年度の学校運営の基本方針の説明
- (5) 夢育やらまいかCS加算分の報告

- 8 会議録作成者 CSディレクター 小林知美
- 9 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 議長の選出について

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、森委員から鈴木委員を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

- (2) 学校関係者評価について

主幹教諭からプレゼンテーション資料に基づき、学校評価の自己評価についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 令和3年度と比べて、令和4年度は全体的によくなっている。先生方や地域の方が努力しているからだと思う。私は、月曜の朝、交通安全の指導をしていて、その時、一人一人の顔を見ながらあいさつをしている。一年生ぐらいの子が大きな声であいさつをしていてくれてうれしい。ただ、3割くらいは、あいさつをしても返ってこない。先生方も朝、子供達にあいさつをしてくれていて、有り難い。一人一人に声を掛け続けていけば応えてくれるようになるのではと思う。（森委員）
- ・ 少しずつ改善している。校長先生がポジティブで、コロナ禍でも前向きに取り組んでくれて有り難い。コロナへの対応を年々重ねている中で、色々なことを考え直すきっかけになっている。何かあった時、前向きに考えることが大切。キャリア教育では、飯田小はいいモデルがある。この地域でも活躍した人がいることを改めて知った。時代背景や地域の歴史がわかってよかった。（露木委員）
- ・ 森さん、露木さんのように、皆様のお力を借りて地域の事を知り、共に歩んでいけたらと思う。今後も引き続き御協力してもらいたい。（鈴木委員）
- ・ 昨年より良くなっているが、地域でのあいさつは資料よりもっと低いと思う。それぞれの考えがあり、校内ではあいさつをするが、地域では、あまり知らない人にはあいさつをしない子もいる。それは、防犯の関係で外では変な人がいたら逃げたり、関わったりしないようにしているためかもしれない。やはり、家庭内であいさつをしていないとあいさつはできるようにならない。子供が、自分であいさつは大切って思っ

てくれるようになればできると思う。(小野委員)

- ・ 子供自ら考えて行動できるようになることが大切で、すぐにはできないかもしれないけれど、継続的に声を掛け続けていけばできるようになると思う。(鈴木委員)
- ・ 今日、参観している時、顔を見てあいさつしてくれた子がいて、うれしかった。(露木委員)
- ・ 顔を知れば、安心してあいさつしてくれるようになる。(鈴木委員)
- ・ ある子供にどこに帰るのか聞くと、「個人情報です。」って言われてびっくりした。こういうことがあると、気軽に声を掛けないほうがいいのかなと思ってしまう。(小野委員)
- ・ あいさつは、子供達にとって、校内が安心安全だからできる。校外では、各家庭で気を付けなさいと言っているからあいさつをしない子がいるのではない。
自己評価の、[学校で学んだことが自分の将来に役に立っていると考えている]の項目で、子供の評価が高く、親の評価が低い。子供の思いを大事にできるといいと思う。(間瀬委員)
- ・ PTA 代表として松山さんどうですか。(鈴木委員)
- ・ 親は、つい目標を高く見てしまう。もっとできるだろうと考えてしまう。子供の思いを大事にしていきたい。家庭学習で、自主学習があり、自分でやることを決めて学習することは、いろいろなことに意識を持ってできるようになり、いいことだ。
やはり、知らない人からのあいさつは怖いと思う。あいさつする範囲が子供の中にもある。ありがとう、おはよう等必要な時にあいさつができることが大事。(松山委員)
- ・ 知らない人からって怖いかもしれない。知っている人になれば、あいさつは自然とするようになると思う。(鈴木委員)
- ・ 今日、来校時、清掃中だったが、飯田小の子供達は、役割を分担して掃除していて、ぼさっとしている子がなくてすばらしいと思った。あいさつもしてくれて気持ちが温かくなった。今年度もコロナ禍ということで行事に参加できなかった事が残念。今後、もっと参加でき、触れ合えたらと思う。
学校の基本方針については、丁寧な説明でとても理解できた。飯田小は、これからもっと良くなっていくのではないかなと思う。授業を見ていると、タブレットの活用も浸透しているなど感じる。先生方が元気で生き生きしている感じがする。家庭・学校・地域が寄り添っていけるように期待している。(杉山委員)
- ・ キャリア教育では、飯田小の先輩の中で、ドーハの悲劇で有名な、日本代表で活躍したゴールキーパーの松永成立さんや開誠館の監督の青島文明さんも入れてほしい。(小野委員)
- ・ この地域出身で、まだまだ活躍している人がいる。キャリア教育に生かしてもらいたい。(鈴木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

運営協議会長から資料に基づき、学校評価の自己評価についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 来年度も子供達の為に、地域・家庭・学校が協力していきたい。(鈴木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 来年度の学校運営の基本方針の説明

校長からプレゼンテーション資料に基づき、学校評価の自己評価についての説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) 夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭から、夢育やらまいかCS加算分の報告があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次年度の会長・副会長・議長の選出について確認があった。また、第1回会議は、令和5年5月16日（火）13時30分から開催する予定である旨の報告があった。